



# United Business Associations

# NEWS



## 目次

熊本県人吉災害地視察報告	2~4 P
福島県郡山市災害報告	5~7 P
九州ブロック第一回各県会長会議交流懇親会	8 P
東北・北海道ブロック連絡協議会ブロック交流会	9 P
2020年度全国講習会 in 群馬県 のご案内	10 P
群馬UBA会長ご挨拶	11 P
理事会報告 第2回役員会 in 岡山	12 P
理事会報告 第1回理事会 in 仙台	13 P
令和2年7月豪雨募金のご報告	14 P

# 熊本県人吉災害地視察報告

熊本UBA吉弘会長のご尽力のもと、実際に豪雨災害に遭われた熊本県主食集荷協同組合青年部所属の人吉食糧株式会社様へ同行させていただきました。



人吉食糧株式会社の事務所内の壁には、床上 1.8m 辺りの位置に被災跡(水がその地点まで浸水した跡)を確認することができました。

我々の身長を越す程の被災跡は、災害の規模の大きさを物語っていました。

## 【人吉食糧株式会社の方による当時の状況】

事務所の裏に位置する倉庫内では、沢山に積み上げていた米俵が四方八方に散らばる惨劇となり、機械や道具もほとんど廃棄となりました。

災害汚水を含んだ米俵は放って置くと発酵が始まり、大変な刺激臭を放ち出します。車両やトラックが無いので片づける事も十分にできない中、組合員の協力のもと、人力で少しずつ片づける事ができました。

コロナ禍の影響もあり、県外ボランティアを受け入れないという知事判断のもと、熊本県内ボランティアだけで対応せざるを得なかったというのが、これまでの災害復旧と大きく違うところです。

そのような中、国の激甚災害指定の対応が早かったことにより、なりわい再建支援補助金の申請をすることが可能となり、精米機の新規購入・倉庫の復旧費用の 3/4 の補助が出ることに感謝しております。今後もお客様のもとに安心した商品を届けられます。

何十年も甚大な災害が起きてない人吉市、普段は歩いて渡れそうな水流しかない球磨川が氾濫するなんて思ってもいませんでした。

災害当日は避難放送が流れていましたが、大豪雨のためほとんど聞こえない状況でした。若い人たちはメール等を上手く活用し、連絡をとっていたようですが、高齢の



方たちはどうすれば早い段階で情報を共有する事ができるのか、再度議論の余地があるのは全国も同じ状況だと思います。



我々全青中も今後の事を見据え、質問をさせて頂きました。

●保険等はどうしていましたか？

「熊本県主食集荷協同組合が共済事業として保険をしていたので助かりました。市長の対応も早くスムーズに補助金申請を出せました。今思えばですが、車も新車・中古車問わず車両保険に入っておくのが大事と思っています。」

●最も助かった事は何ですか？

「うーん・・・有り難かったのは、災害発生から1～2日後、ボランティアの人達が買って来てくれた食べ物の差し入れですね、本当に助かりました。」

町全体が災害を受け、インフラが全く機能していない状態で、「食べる(食事)」という最も大事な事に言及されており、災害発生時の生々しい現実を改めて考えさせられました。

少しずつ少しずつですが町の復興は進んでいます。

がんばろう！！



## 【支援物資集積場の視察】

熊本では、青年4団体により『JIYUくまもと連絡会議※』を組織しており、熊本県とも災害時の連携協定を結んでいます。

※JIYUくまもとは、公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本ブロック協議会(JC)・熊本県商工会青年部連合会(Impulse)・熊本県商工会議所青年部連合会(YEG)・熊本県中小企業団体中央会青年部協議会(UBA)の頭文字をとり、2017年に設立された。



JIYUくまもと連絡会議として災害時にできる事を考えた結果、支援物資を受ける場所・置く場所を設ける事が必要という意見が上がり、熊本県内をエリアで分け、各団体の提供可能な倉庫を検討し、災害時に備えていたそうです。

本災害において、JIYUくまもとの支援物資の仮置き場としていた、支援物資集積場を視察する事ができました。

災害を受けた人吉市の近辺で、被災の少なかった宇土市内の株式会社本山運送(くまもとUBA永井副会長)様の倉庫が拠点となり、物資の受入期限の8月末まで、倉庫1階の縦横50mの大きなスペースに対し支援物資が絶えず届けられる状態が続きました。



届いた後には、JIYUくまもとのメンバーが中心となり、その物資を分類し倉庫内に収納、物資管理のためリスト化をし、必要な物資をリストから選出、トラックに積み込んで被災地へ運搬する、といった作業に取り組んだとのこと。

被災地に対し、今まさに必要な物を運ぶことで、現地の方を手助けする事もでき、JIYUくまもと連絡会議の活動として大変すばらしい功績を残す事となりました。



# 福島県郡山市災害報告

## (1) ブロック交流会

テーマ:「郡山市中央工業団地における 2019 年台風 19 号の概要及び復旧の現状について」

講師:石井電算印刷株式会社

代表取締役 石井 祐一 氏(福島県 UBA 直前会長)



## ① 令和元年東日本台風(2019 年台風 19 号)による被害

### ・被害概要

令和元年10月、猛烈な勢力を保ったまま日本に上陸した台風19号は、日本各地に多くの災害をもたらし、特に関東地方や甲信地方、東北地方などでは、記録的大雨により堤防が計142か所で決壊。被災した建物は81,235棟、浸水面積は63,967ヘクタールに及んだそうです。

日本政府では、これに対し、激甚災害、特定非常災害(台風としては初)、大規模災害復興法の非常災害(平成28年熊本地震後2例目)を適用。また、災害救助法適用自治体は2019年11月1日時点で14都県、390市区町村であり、東日本大震災を超えて過去最大の適用とのこと。被害総額は、約1兆8,600億円となり、津波を除く水害の被害額としては、統計開始以来過去最大となりました。また、都道府県別では、福島県が最多の約6,693億円で、ついで栃木県約2,546億円、宮城県約2,512億円となりました。

### ・福島県における被害状況

福島県では、阿武隈川及びその支流など県内25河川が氾濫し、20市町村で浸水被害等が発生。今年9月時点で、死者38名、建物被害は全壊1,470棟、半壊12,318棟、一部損壊6,559棟、床上浸水1,022棟、床下浸水432棟に上るそうです。



## ・郡山中央工業団地における被害状況

当団地は、JR 郡山駅から東に約4kmほどの場所に位置し、約280企業が立地。台風19号により近郊を流れる阿武隈川とその支流が氾濫し全域が浸水し、福島県内で最も大きな被害となったそうです。中には高さ3m近くまで浸水した場所もあり、県全体の商工業関係の被害総額の4割以上に上る、約402億円の被害が発生しました。



## ② 台風災害からの復旧とグループ補助金等の活用(石井電算印刷株)

### ・被害状況について

石井電算印刷株式会社では、当初、台風の風害が大きくなることを予想し、窓の養生等風対策を万全に行っていました。結果、豪雨による水害を受けてしまいました。同社では、道路から1.5m、工場床上1mの浸水があり、1階の設備機械、倉庫内商品や入庫済み印刷用紙、事務所内書類等が水没し、全ての印刷用機械が使用不可となったそうです(設備被害総額約2億7,000万円)。

### ・被災直後の復旧状況

停電や設備機械等の浸水、大量の泥の流入により、早期の事業復旧は難しく、汚泥排出や機械設備等の撤去作業に約1か月間かかったとのこと。また、事務所機能を有していた1階部分が全面浸水し、電話やネット回線が長期間にわたりダウンしたため、連絡手段として数か月間ポケット Wi-Fi などの臨時回線を使用し、非常に不便な思いを強いられました。その時にライフラインの確保は大前提として、事業を行う上でのネットワークラインの重要性を痛感したそうです。



社屋の壁面や床など、未だ災害の傷跡は残る



電源設備の嵩上げや高所に設備の避難場所を設けるなど、災害の教訓を活かした取組を行っている

復旧作業に多くの時間を費やし、辛い時間を過ごしたと同時に、お客様や地域の方々が安否確認の連絡をくれたり、復旧作業を手伝ってくれたり、沢山の人の優しさに触れる時間でもあったそうです。

## ・グループ補助金の活用

令和元年11月初旬、政府が台風15号及び19号など一連の台風に伴う豪雨や暴風被害を受け、被災者の生活と事業再建に向けた対策パッケージを閣議決定し、その中で、11月29日には中小企業等グループ施設等復旧整備補助金の募集がスタート。同補助金は、宮城県、福島県、栃木県、長野県の4県が対象で、複数の中小企業者がグループを形成して復興事業計画を策定すれば、復旧費用の4分の3を支援するというものです。

同社では、同補助金を活用するため、浸水で使用できなくなった印刷機械の入替や社屋の建て替えの計画を申請しました。現在では、補助金と保険金で印刷機械等の入替は完了しており、今後社屋の建て替えを予定しています。



## ・新規事業の展開

台風被害からようやく立ち上がろうとしていた矢先、新型コロナウイルスが全国的に感染拡大し、経営に再び大きなダメージを受けることとなりました。

このような逆境続きの状況をチャンスに変えるべく、同社では印刷業者ならではの技術を活用し、抗菌インクを使用した使い捨て紙製抗菌マスクケースの開発に着手。このマスクケースは、外食の際などマスクを外す場面で衛生的に保管するためのもので、サンプル配布に力を入れた結果、地元ホテルなどで多くの受注を得ることができたそうです。今後も、さまざまなアイデア商品開発にチャレンジしたいとのとこでした。

# 九州ブロック第一回各県会長会議交流懇親会

九州ブロック中小企業青年中央会第1回各県会長会議を令和2年9月10日(木)16時30分より大分センチュリーホテルにて実施しました。

新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、参加人数の多い九州ブロックの集いを中止し、会長会議及び懇親会のみとし、新しい生活様式を取り入れて何とか開催することができました。

新しい生活様式としては受付にアクリル板を設置し飛沫防止とし、体温測定、アルコール消毒、健康チェックシートの記入、使用したボールペンの消毒、マスク着用の徹底と、十二分な対策をいたしました。

会員総数8団体で出席会員は8団体(うち1団体はZoom参加)で全員の参加となりました。

議題の内容は以下の通り

## 1. 令和2年度事業実施状況について

九州ブロックの通常総会は、全国中小企業青年中央会の通常総会と同じく岡山県にて6月12日開催予定であったが、書面議決となったことと、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面議決にて開催した。

青年部の集いについては、9月10日開催予定であったが、親会の九州大会書面議決になるなどの背景より中止。

## 2. 第2回各県会長会議の開催について

群馬で開催される全国講習会の日程との重複を避けることや2月は、キャンプシーズンにより宿泊施設の確保が困難になる可能性がある点を考慮し令和3年3月12日(金)に宮崎県で開催。

## 3. 令和3年度全国講習会大分開催について

UBA マニュアルで11月の第1又は第2金曜になっており、そのいずれかで大分県に一任することが承認された。

## 4. その他

令和2年7月豪雨に関して、全青中がとりまとめを行っている募金活動について話が上がり、各県対応にて行うことが決定した。

18時より別室にて懇親会を開催しました。こちらも新しい生活様式に則り、円卓に6名で十分なスペースをとり、瓶ビールは手酌で対応し乾杯もグラスを接触させずに行いました。全国中小企業青年中央会より大久保会長と恵南副会長に来賓として出席していただき、懇親を深めることができました。





# 東北・北海道ブロック連絡協議会ブロック交流会

10月2日に全国中小企業青年中央会より藤井俊之副会長に來賓としてご参加いただき、中小企業青年中央会東北・北海道ブロック連絡協議会ブロック交流会を開催いたしました。

コロナ禍の中での開催となり、各県の会長の皆様には、開催地である福島県郡山市まで実際に来ていただいたり、Zoomを活用いただいたりするなど参加人数は限られてしまいましたが、例年同様に実りある交流会となりました。

当日は、研修会として、昨年の台風19号で甚大な被害を受け、現在、復旧を行っている福島UBAの石井祐一直前会長の会社(石井電算印刷株式会社)をお借りし、台風被害の大きかった郡山市中央工業団地の現状と各社の復旧への取り組みについて、講演を行っていただきました。

石井直前会長の会社では、昨年の台風時に1.5メートルの浸水があり、事務所内のパソコン等や工場内の印刷機械等の多くが使用不能になり、平成23年の東日本大震災を上回る被害とのことでした。

浸水被害後の対応についても、経験を踏まえて説明を頂き、災害に対する備えの重要性を強く訴えていました。また、水害からの復旧において、取引先や仲間など多くの人の後押しや、グループ補助金の活用のお話しをいただきました。

石井直前会長の他にも、同じ工業団地内に会社のある福島UBA 廣川寛監事、黒田容委員長にも同様にお話しをいただき、その後、復旧後の各工場を見学して研修会を終えました。

研修会終了後は、会場を移動し、引き続き藤井副会長に参加いただいて会長会議を行いました。Zoomを活用して、会場に来ることのできなかった会長・事務局にも参加いただいて、今後の東北・北海道ブロック連絡協議会の運営について、活発な意見交換を行いました。

定期総会に続き、残念ながら今回も限定された開催となってしまいましたが、次回の定期総会では、実際に会えることをお互いに願いながら閉会となりました。



最後に、開催に向けてご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

# 2020年度組合青年部全国講習会 in 群馬県のご案内

2020年度組合青年部全国講習会は2020年10月30日の開催を延期し、下記の通り開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

## 記

【日 時】 2021年2月26日金曜日

【場 所】 群馬県高崎市 『ホテルメトロポリタン高崎』  
〒370-1849 群馬県高崎市八島町222

【内 容】 ・UBA サミット  
・講習会 講師 株式会社 minitts 「佰食屋」  
代表取締役 中村 朱美 氏

### 【スケジュール】

13:00～14:40 UBA サミット (今回は講習会参加者全員が対象となります)

14:50～17:20 講習会

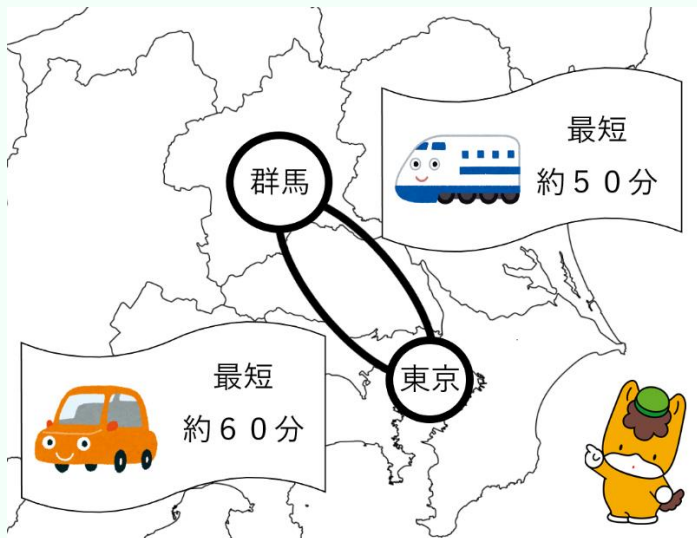
今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小規模での開催とし、現地参加の対象者を各都道府県 UBA 会長、事務局員 1 名、および会員 1 名程度の各 UBA から 3 名程度と致します。その他の会員には、講習会をインターネットで聴講できるよう、ライブ配信を予定しております。また、今講習会後の懇親会については開催を見送ることと致しました。皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

詳細なご案内につきましては、後日各都道府県 UBA にお送り致します。

# 群馬UBA会長ご挨拶



皆さんこんにちは。私は2020年4月より群馬県中小企業団体青年協議会の会長に就任いたしました。横田裕正と申します。本来ならば10月30日群馬県高崎市に於いて2020年度組合青年部全国講習会を盛大に開催する予定でしたがコロナウイルスの影響で2021年2月26日に延期となりました。開催も規模を縮小して行われる予定です。コロナウイルスがなければ全国の皆さんとUBAサミット・講習会・懇親会を通じて交流を深める予定でしたが現在どのような形で開催するかを検討している最中です。全国から来られる人の移動手段や会場設営など様々な問題点があり皆さんをいかに安全安心なおもてなしが出来るか全青中と協議を行っております。今後詳細が決まり次第全国の皆様にご案内をさせていただきます。



さて、皆さんは群馬県を知っていますか？唐突な質問ですいません。わが群馬県は都道府県魅力度ランキングでは毎回下位争いを行うほど知名度や魅力に欠けていると思われております。2019年度は45位でした。しかし群馬県には他にはない素晴らしいものがたくさんあります。全国講習会にお越しいただく前にご紹介させていただきます。

まず群馬県と言えば東京から新幹線で1時間の距離にあり、自然が豊かで災害も少なく、食材も豊富で住みやすい土地です……。自分で書きながら何となく平凡で魅力に欠ける内容だと思います。

そう、まさに群馬県は平凡な県だと思います。有名な観光スポットやご当地グルメがあるわけでもありません。そんな群馬県ですが私がいつも他県の人に自慢できる唯一のネタがあります。それは……BOOWYの出身県です。私(1974年生まれ)にとって中学時代先輩からカセットテープを頂き聞き始めた青春の1ページであり今でもカラオケで必ず歌うのは「DREAMIN'」です。群馬県人はBOOWY大好きな人が多いです(多分)。全国の皆さん、今後群馬県=BOOWYと覚えて頂ければと思います。

このように？魅力あふれる群馬県ですが2021年2月全国講習会で精一杯おもてなしさせていただきます。全国の皆さんと楽しく会える日をお待ちしています！

## 理事会報告 第2回役員会 in 岡山

我々、全国中小企業青年中央会(以下全青中)は、コロナ禍の影響を受け、2020年6月12日に開催予定であった『2020年度通常総会in岡山』を中止する運びとなり、更には東京にて開催予定であった、今年度より新たに就任役員初出席の役員会も集まる事が出来ず、リモートでの役員会が初顔合わせの中、モニター画面を通じて話ではありますが、リモートだけですべての事を決めるのは難しいのが実情です。コロナ禍の中ではある状況を踏まえ、8月の第2回役員会開催を検討した。



開催場所としては、役員の出向元である点・コロナ感染者数が少ない点・役員が集まりやすい所である等を基準に、岡山県が候補に挙がった。当日まで何が起こるかかわからず、中止の可能性も踏まえ、2020年8月3日岡山県中小企業団体中央会協力のもと、協同組合岡山県卸センター貸会議室での開催に至りました。全国より役員が集結し、岡山入りが叶わない役員及び全青中事務局については、ZOOMでのリモート参加という体制で、岡山会場とリモートでのハイブリット役員会に臨み少しでも参加役員の不安材料を取り除く事ソーシャルディスタンス・フェイスガード・マスク着用に加え、1時間ごとの換気を行う等のコロナ対策も徹底的に行い会議に挑んだ。



会議は、戸島副会長の議事進行のもと、大久保会長の挨拶により開会となった。会議を進めていく中でリモートならではのタイムラグやニュアンス違いも感じる中、2020年度全国講習会(群馬)・2021年度通常総会(愛知)、令和2年7月豪雨の支援金募集や全青中運営について話し合った。フェイスガードにマスク着用だとマイクが声を拾いにくく、リモート参加者には聞こえにくい等の課題もみられたが、次回に繋がる良い経験となった。10月理事会開催場所も宮城県(仙台)としてよいか議場に諮ったところ満場一致で可決され第2回役員会も閉会となった。

## 理事会報告 第1回理事会 in 仙台

2020年10月23日、2020年度第1回理事会が開催されました。開催場所は宮城県仙台市仙台協立第1ビル会議室。今回の理事会も前回岡山での理事会同様、リモート(Zoom)と仙台的会場を結んでのハイブリッドの会議となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、仙台会場出席者は全員フェイスシールドを着用し、1時間に1度換気を行う形での理事会となりました。



会議は総務、事業、広報の3委員会のそれぞれで審議、協議、報告事項などがあり、群馬県で開催予定の2020年度全国講習会、2021年度全国総会、2021年度全国講習会、災害支援など多岐にわたり審議、協議されました。特に2020年度全国講習会は本来の開催日を延期し、2021年2月の開催で決定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の現状から縮小規模での開催、懇親会も断念することになりました。全委員会がこの議案に関与し、総務委員会からは予算、事業委員会からはUBAサミットと講習会のタイムスケジュール、受付方法、広報委員会からはUBAニュースでの掲載方法などの案が上程され、審議および必要事項を可決承認しました。一方、愛知で開催予定の2021年度全国総会については、6月の感染症の拡大状況を予測することが難しく、継続審議となりました。

災害担当からは、令和2年7月豪雨に対する支援について、総額約210万円の支援金が集まった報告があり、配布対象、配布方法について決定しました。

その他、2022年度、当会が設立30周年を迎えるにあたり、実行委員会の設置を了承しました。今後、東京での式典開催を予定し内容を協議していくことになります。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない今、独自のZoom有料アカウントを利用し、今回のようなリモートによる理事会、役員会、委員会などの会議を進めている当会ですが、先の見えない今、全国の各ブロックに於いてもその活動を止めることなく進めて頂けるよう当会のZoom有料アカウントを貸し出しております。是非、ブロックでの会議などにご利用下さい。



## 令和2年7月豪雨募金のご報告

ご協力いただいた皆さま	今年度支援金	¥2,105,979
北海道中小企業青年中央会	昨年度未決済残	¥7
青森県中小企業青年中央会	支援金合計	¥2,105,986
岩手県中小企業青年中央会		
宮城県中小企業団体青年部連絡協議会	各県への配付金額	
秋田県中小企業青年中央会	岐阜県	¥140,400
福島県中小企業青年中央会	佐賀県	¥140,400
群馬県中小企業団体青年協議会	熊本県	¥1,684,786
埼玉県中小企業団体青年中央会	鹿児島県	¥140,400
千葉県中小企業団体青年中央会	合計	¥2,105,986
東京都中小企業団体青年部協議会		
神奈川県中小企業青年中央会	<p>※本支援金の配布にあたって、事前に被災県よりご報告いただいた内容から支援金を配布する対象および配布金額算定基準を検討しました。その結果、上記の県に対して対象件数で按分し、昨年度未決算残を含めて配布することとしました。</p>	
新潟県中小企業青年中央会		
静岡県青年中央会		
愛知県中小企業青年中央会		
三重県中小企業青年中央会		
富山県中小企業青年中央会		
石川県中小企業青年中央会		
滋賀県中小企業青年中央会		
鳥取県中小企業団体中央会青年部		
島根県中小企業団体青年部連合会		
岡山県中小企業団体青年中央会		
広島県中小企業団体青年中央会		
山口県中小企業団体中央会青年部		
徳島県中小企業青年中央会		
香川県中小企業団体中央会青年部		
愛媛県中小企業団体中央会青年部協議会		
高知県中小企業青年中央会		
福岡県中小企業団体中央会青年部連絡協議会		
佐賀県中小企業青年中央会		
熊本県中小企業団体中央会青年部協議会		
大分県中小企業団体中央会青年部会		
宮崎県中小企業団体中央会青年部		
鹿児島県中小企業団体中央会青年部会		
沖縄県中小企業青年中央会		
東北・北海道ブロック		

今年8月～9月に支援金を募らせていただいた結果、全国から210万円超のご支援をいただきました。

お寄せいただいた支援金は速やかに被災された方々にお届け致します。

皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。